



## 2024年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年5月15日

上場会社名 株式会社魁力屋 上場取引所 東  
コード番号 5891 URL <https://corp.kairikiya.co.jp>  
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 藤田 宗  
問合せ先責任者（役職名） 専務取締役管理本部長（氏名） 丸本 純平（TEL）075-211-3338  
四半期報告書提出予定日 2024年5月15日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

## 1. 2024年12月期第1四半期の業績（2024年1月1日～2024年3月31日）

（1）経営成績（累計）（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第1四半期	2,887	—	216	—	226	—	138	—
2023年12月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第1四半期	25.24	24.27
2023年12月期第1四半期	—	—

（注）2023年12月期第1四半期については四半期財務諸表を作成していないため、2023年12月期第1四半期の数値及び2023年12月期第1四半期並びに2024年12月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

## （2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期第1四半期	7,508	4,456	59.4
2023年12月期	7,473	4,400	58.9

（参考）自己資本 2024年12月期第1四半期 4,456百万円 2023年12月期 4,400百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	0.00	—	15.00	15.00
2024年12月期	—	—	—	—	—
2024年12月期(予想)	—	0.00	—	16.00	16.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年12月期の業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,770	11.2	741	9.1	747	9.5	454	16.3	82.70

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2024年12月期 1 Q	5,490,000株	2023年12月期	5,490,000株
---------------	------------	-----------	------------

② 期末自己株式数

2024年12月期 1 Q	31株	2023年12月期	－株
---------------	-----	-----------	----

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2024年12月期 1 Q	5,489,989株	2023年12月期 1 Q	－株
---------------	------------	---------------	----

(注) 当社は、2023年12月期第1四半期については四半期財務諸表を作成していないため、期中平均株式数を記載しておりません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後の様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手について)

四半期決算補足説明資料は、2024年5月15日（月）に当社ウェブサイトに掲載いたします。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、堅調な企業業績を背景に株式市場が活況を呈し、雇用・所得環境も改善が進みました。また、円安に伴う外国人観光客の急速な増加によるインバウンド需要の拡大等もあり、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、ウクライナ、中東での緊迫した情勢に加え、原材料・資源コストの高騰、エネルギー価格の高止まり等を背景とした物価の上昇は継続しており、依然として先行きは不透明な状況にあります。

外食産業におきましては、原材料、エネルギー、物流、人件費等の高騰や深刻な人手不足といったマイナス要因は払拭できないでいるものの、経済活動の正常化に伴い人流が活発となったことや国内外旅行者の増加等により、全体的な外食需要は着実に高まっております。

このような状況の中、当社は「日本の食文化と『おもてなしの心』で世界中を笑顔に！」を経営ビジョンとし、「たくさんのお客様に『ありがとう』と言われるお店でありたい」を店舗理念に掲げ、全社一丸となって企業価値の向上に努めてまいりました。

商品・販売施策につきましては、1月から2月にかけて「焼きめし定食半額祭」、春休み期間中は「春祭りお子さまフェア」を実施いたしました。期間限定商品につきましては、1月に「野菜たっぷり塩タンメン」、2月には「背脂TKまぜそば」を販売し、多くのお客様にご好評いただきました。出退店の状況につきましては、2月は京都府に「京都南インター店」を、3月は千葉県に「幕張インター店」を出店し、新店出店に合わせて各種クーポンを配布するなどして集客を図りました。この結果、ラーメン魅力屋137店舗（うち直営店105店舗、FC加盟店等32店舗）、中食事業等10店舗の合計147店舗となりました。

以上の結果、当第1四半期累計期間における業績は、売上高2,887,730千円、営業利益216,563千円、経常利益226,696千円、四半期純利益は138,577千円となりました。

なお、当社は飲食事業の単一セグメントであるためセグメントごとの記載はしていません。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第1四半期会計期間末の資産合計は、7,508,391千円となり、前事業年度末と比較して35,179千円の増加となりました。流動資産は4,290,107千円となり、前事業年度末と比較して3,185千円の増加となりました。これは主に、売掛金が24,426千円増加した一方で、預け金が9,184千円減少、原材料が8,723千円減少したこと等によるものであります。

固定資産は3,218,283千円となり、前事業年度末と比較して31,993千円の増加となりました。これは主に、新規出店等により有形固定資産が58,807千円増加、敷金及び保証金が7,931千円増加した一方で、繰延税金資産が33,251千円減少したこと等によるものであります。

#### (負債)

当第1四半期会計期間末の負債合計は3,051,927千円となり、前事業年度末と比較して20,954千円の減少となりました。流動負債は2,086,108千円となり、前事業年度末と比較して47,145千円の増加となりました。これは主に、未払金が207,692千円増加、賞与引当金が77,659千円増加した一方で、その他（未払費用等）が121,226千円減少、未払法人税等が124,761千円減少したこと等によるものであります。

固定負債は965,818千円となり、前事業年度末と比較して68,099千円の減少となりました。これは主に、長期借入金71,479千円減少した一方で、その他（リース債務等）が2,227千円増加したこと等によるものであります。

#### (純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産合計は4,456,464千円となり、前事業年度末と比較して56,133千円の増加となりました。これは主に、四半期純利益138,577千円を計上した一方で、配当金82,350千円の支払いにより利益剰余金が減少したことによるものであります。以上の結果、自己資本比率は、前事業年度末の58.9%から59.4%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年12月期の業績予想につきましては、2024年2月14日に公表いたしました数値に変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年12月31日)	当第1四半期会計期間 (2024年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,511,816	3,506,969
売掛金	259,305	283,732
原材料	38,264	29,540
預け金	224,873	215,689
その他	252,661	254,175
流動資産合計	4,286,922	4,290,107
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,714,089	1,748,137
その他(純額)	412,816	437,576
有形固定資産合計	2,126,906	2,185,713
無形固定資産	64,442	64,762
投資その他の資産		
繰延税金資産	301,130	267,879
敷金及び保証金	469,215	477,147
建設協力金	199,323	193,500
その他	25,271	29,280
投資その他の資産合計	994,941	967,806
固定資産合計	3,186,289	3,218,283
資産合計	7,473,212	7,508,391

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年12月31日)	当第1四半期会計期間 (2024年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	439,472	413,743
短期借入金	—	50,000
1年内返済予定の長期借入金	336,546	320,056
未払金	666,921	874,614
未払法人税等	197,615	72,854
賞与引当金	—	77,659
その他	398,407	277,181
流動負債合計	2,038,963	2,086,108
固定負債		
長期借入金	615,577	544,098
資産除去債務	371,033	372,184
その他	47,307	49,535
固定負債合計	1,033,918	965,818
負債合計	3,072,881	3,051,927
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	872,800	872,800
資本剰余金	1,027,313	1,027,313
利益剰余金	2,500,217	2,556,444
自己株式	—	△93
株主資本合計	4,400,330	4,456,464
純資産合計	4,400,330	4,456,464
負債純資産合計	7,473,212	7,508,391

## (2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自2024年1月1日 至2024年3月31日)
売上高	2,887,730
売上原価	824,506
売上総利益	2,063,223
販売費及び一般管理費	1,846,660
営業利益	216,563
営業外収益	
受取利息	551
受取賃貸料	5,248
受取手数料	2,862
その他	11,086
営業外収益合計	19,748
営業外費用	
支払利息	1,049
賃貸費用	5,277
支払手数料	2,212
その他	1,077
営業外費用合計	9,615
経常利益	226,696
税引前四半期純利益	226,696
法人税、住民税及び事業税	54,868
法人税等調整額	33,251
法人税等合計	88,119
四半期純利益	138,577



(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。